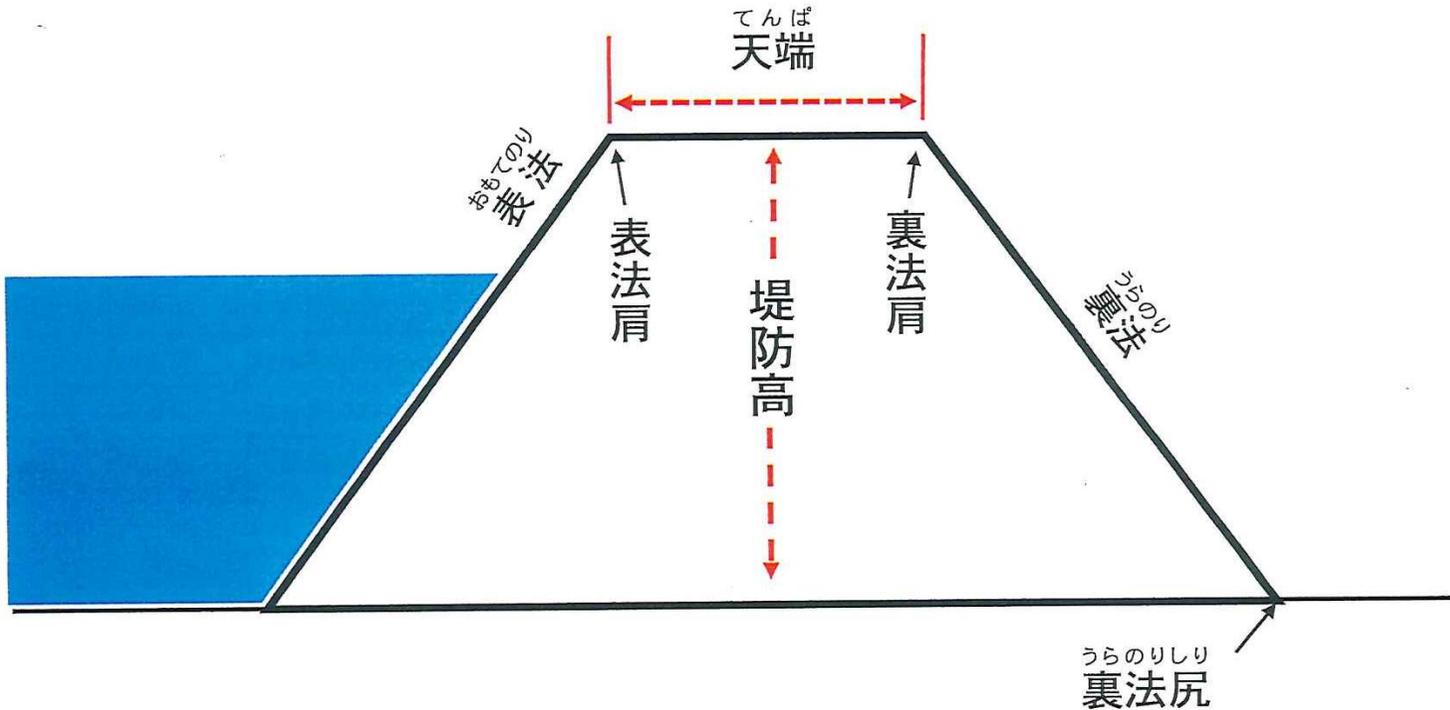


# 堤防の主な名称



2020年3月26日 参議院予算委員会 日本共産党 武田良介 出典:中島秀雄著『図説 河川堤防』をもとに武田良介事務所作成資料



## 堤防開削による調査

※本資料は現時点状況をまとめたもので、今後の精査により変更となる場合があります

### (1) 上流側開削調査

- 堤体は、初期盛土と想定されるBg層、Bs層の二層から成り、第2期盛土(昭和58年)は初期盛土を被覆するようにBc層で盛土を行ったと想定される。その後、平成17年に川裏に盛土を設置している。
- 堤体の地層構成は57.4kとほぼ同じであり、堤体内部にBg層があるが、Bc層で被覆されている。
- 開削調査からは長沼城(土塁)に関する痕跡はみられない。

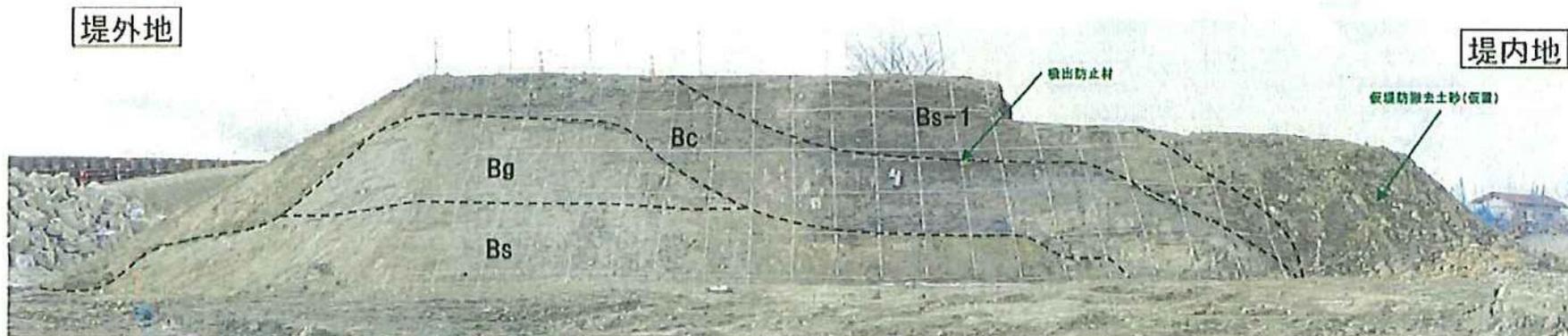


図-1 上流側堤防開削断面 (R2. 2. 8)

地層名	土質
Bs	砂質土
Bg	礫質土
Bc	粘性土
Bs-1	砂質土

2020年3月26日 参議院予算委員会 日本共産党 武田良介  
 出典:国土交通省 北陸地方整備局 千曲川河川事務所 提供資料より抜粋

資料3

